

オンラインセミナー

食支援の実際

講師 柴本 勇（聖隷クリストファー大学）

安全においしく味わってもらうための知識やコツを5回にわたって解説します。

当事者の方、ご自宅や施設、病院で食事介助をされている方を含め、STやOT、PT、看護師の方などを対象に、基礎知識から専門知識まで、テーマごとに食支援で欠かすことのできない点について説明します。なぜそれが重要であるか、科学的根拠をふまえた解説と実践方法をお伝えします。

第1回 9/4 (金) 「食べるメカニズム」

「食べる」という活動は、神経や筋活動が巧みに制御された複雑な運動の上に成り立っています。また、認知、反射活動と随意運動が共存するという人の中では唯一のもので、食べられないことやその支援を考える上で、基盤となる「食べること」の生理学的知識を学びます。

第2回 9/18 (金) 「食事介助の実際」

食事介助で窒息事故など痛ましい事故が起きています。食事介助はプロフェッショナルな活動です。食べる方も支援する側にも安心な食事介助を、科学的な視点で専門的に解説します。また、より可能性を拡げられる介助方法についても学びます。

第3回 10/2 (金) 「リハビリテーション手技」

摂食嚥下リハビリテーションは、ここ30年で急速に発展してきました。毎年新たな手技が開発され実践されています。1つ1つの手技について、目的、適応、方法を学びます。最新で正確な手技を用いて支援することが、目標達成に近くなります。専門的な視点で解説します。

第4回 10/9 (金) 「摂食時の姿勢調整」

食べる環境を整えることは、ご本人の最高のパフォーマンスを引き出すこととなります。摂食時の姿勢は、重要な環境設定の1つです。科学的な視点で姿勢設定をすることは、重要であり、その基本的知識、具体的方法、注意点などを学びます。

第5回 10/23 (金) 「リスク管理」

せっかく本人のために行っていることでも、誤嚥や窒息事故が生じると生命にかかわる事態になりかねません。リスクをアセスメントし、マネジメントできる力をつければ事故を未然に防ぐことにつながります。専門職も家族も、食支援する誰もが知っておきたい「安心・安全」につながる知識や行為を学びます。

- 参加費 1講座につき
会員 1,000円 非会員 3,000円
- 開催時間 19時～20時15分
(講義60分、質疑応答15分)
- 方法 ZOOMによるオンライン配信
- 対象 食事介助に携わる方
(当事者の方、ご家族を含む)
言語聴覚士 作業療法士
理学療法士 看護師
その他 医療・福祉 教育の専門職
- 申し込み方法 研究所HPの申し込みフォームから
お申込みください。



詳しくはHPをご覧ください。

<https://fc-science.or.jp/guide7.html>



一般社団法人 食とコミュニケーション研究所

〒430-0926

静岡県浜松市中区砂山町 355 番地の 4

ハマキョウレックス浜松駅南ビル 4F